

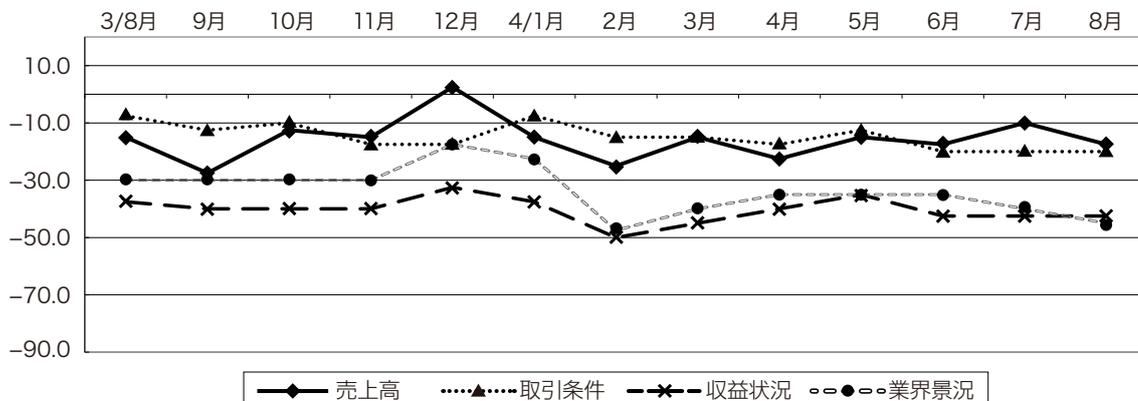


業界の今!

情報連絡員報告より
8月の業界の動き

◆ 令和4年8月度 情報連絡員報告 ◆

全業種DI値
業界の景気動向(前年同月比)



	8月	9月	10月	11月	12月	4/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	増減
売上高	-15.0	-27.5	-12.5	-15.0	2.5	-15.0	-25.0	-15.0	-22.5	-15.0	-17.5	-10.0	-17.5	-7.5
取引条件	-7.5	-12.5	-10.0	-17.5	-17.5	-7.5	-15.0	-15.0	-17.5	-12.5	-20.0	-20.0	-20.0	0.0
収益状況	-37.5	-40.0	-40.0	-40.0	-32.5	-37.5	-50.0	-45.0	-40.0	-35.0	-42.5	-42.5	-42.5	0.0
業界景況	-30.0	-30.0	-30.0	-30.0	-17.5	-22.5	-47.5	-40.0	-35.0	-35.0	-35.0	-40.0	-45.0	-5.0

概要

令和4年8月の前年同月比DI値は、売上高が-17.5ポイント、取引条件が-20.0ポイント、収益状況が-42.5ポイント、業界景況が-45.0ポイントであり、引き続き業界景況は悪化している。原材料価格の上昇に対する価格転嫁は、一部の事業者では進んでいるものの、エネルギー価格の高騰が続く中、利益は圧迫されている。また、製造業では、新型コロナウイルス感染症の急拡大の影響で、回復基調にブレーキがかかった業種が多い。

コロナ禍による半導体を含む部材供給不足は各方面で影響が続いている。(トラック)

	集計上の分類業種	業種詳細・地域	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製造業	食料品	製麺	昨年に比べて、新型コロナウイルス感染症の第7波がまん延している状況で、まだまだ先の見通しが立てにくい日が続いている。イベントの開催が秋より始まる事もあり、少しは明るい兆しとなっている。今後、三重県産小麦を使った新しい商品開発に組合として取組んでいくことになり、ラーメン、焼きそばの開発を行っていく。11月に麦価の値上がりが見えなくなったが、今後の先行きは見えにくい状況である。
	窯業・土石製品	伊賀焼	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、客足が減少している。例年お盆の時期は売上が上がるが、今年は客足が少ないことで、減少から横ばいとなっている。
	輸送機器	鈴鹿	長期化している部品供給不足により、大手自動車メーカーでは夏季休暇を数日間延長したため、組立ラインの稼働が当初予定よりも減少した。挽回のため9月以降は毎月1~2日間の休日稼働が予定されていたが、9月もやはり部品の供給不足のため、休日稼働は取り止めになった。新型コロナウイルス感染者の増加に伴い、従業員でも濃厚接触者としての自宅待機が必要な者が増えており業務に支障をきたしている。
非製造業	小売業	電器	本格的な夏商戦に入り、エアコンを中心とする家電製品関連は、コロナ禍前までとはいかないが、回復の兆しを感じる。今年度は各メーカーや企業によって、お盆休みにばらつきがあったため、販売店舗としては連動してお盆休みを設定するかについて少し考えた。人の動きも出ていることで商品の動きも少々出てきているようである。現状まだ各商品が潤沢に入手できる状況ではないので、油断は禁物である。今後の仕入れ価格の上昇も気になるところである。
	商店街	熊野市	久しぶりに規制のない夏を迎えたが、感染者数は高止まりの状況の為、飲食店等は相当影響を受けていた。帰省の多かった今年のお盆は、お土産等の観光事業については昨年より売上は微増ではあったが、飲食関係は帰省しても外食を控えて過ごす帰省者も多かったため、協力金のない今年は厳しかったとの話をよく聞く。また感染拡大を恐れ、自主的にお盆期間中を休業にした店もあった。
	運輸業	トラック	軽油価格は若干の値下がりは見られたが、依然として高止まりが続いており、経営を圧迫している。コロナ禍による半導体を含む部材供給不足は各方面で影響が続いている。電子デバイス部門は足踏み状態となっており、自動車関連についても輸送量が回復していない。スーパー小売部門についても消費者物価上昇の影響で、減少傾向が続いていたことから、輸送についてもその影響を受けた。

P9 あなたも組合士【解答】

1	2	3	4	5	6	7	8	9
×	×	○	○	×	○	×	×	○